

令和6年度 第4回 有玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024年12月13日（金） 13時15分から15時10分まで
- 2 開催場所 有玉小学校 図書室
- 3 出席委員 岩井 正次、竹内 有徳、山本 恭子、太田 克美、中村 佐佳恵
北出 勉、高林 和行、高林 愛子（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 飯島 美智子（校長）、上野 仁悟（教頭）、古橋 麻紀子（主幹教諭）
平 章（CS担当）、竹内 貴子（CSディレクター）

- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 竹内 貴子
- 9 議長の選出

前回の協議会において、議長の選出について、北出委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

- 10 協議事項
(1) 議長の選出について
(2) 学校関係者評価について

11 会議記録

司会から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 議長の指示により、校長からスライドと資料に基づき、学校の様子について報告があった。

- (2) 学校関係者評価について

議長の指示により、主幹教諭から、スライドと別紙資料に基づき、今年度の教育活動報告について説明があった。

- (3) 熟議（学校関係者評価について）

議長の指示により、各グループにて意見交換を行った。各グループからは、以下の発言があった。

【グループ①（岩井会長、山本委員、中村委員、校長）】

- ・アンケートの結果より、子供のよくできた、できたの割合が多く、自己肯定感が高い。一方、先生方の評価は低い。もう少し高く評価してもよいのではないかと感じる。
- ・お互いの考えを認め、褒め合うことも大事だが、批判もして、レジリエンス、立ち直る力を強くすることも大事。
- ・言葉づかいの悪さが気に掛かる。相手のことを思いやる言動を心掛けるよう働きかけたい。
- ・3分間ボランティアは、主体性を育むためにとても良いと思う。指示をされてやるのではなく、自分で考えることが大切。

【グループ②（北出委員、太田委員、高林愛委員、主幹教諭）】

- ・学力は、小学校からの積み重ねで、勉強と向き合うことができていると思う。

- ・引き渡し訓練は、いろいろなパターンを身に付けられるよう改善されている。
- ・放課後の子供の遊び方について、外遊びが減っている。不審者が出るのが心配なため、大人の目があると安心。
- ・言葉づかいについて、子供たちが悪い言葉づかいをした時に、どう注意をするのが課題。

【グループ③（竹内委員、高林委員、CS 担当、教頭）】

- ・自分の考えを伝えるために、発達段階に応じた学習が必要。
- ・本校は、一年生の様子を見ても、全体的に落ち着いた雰囲気だと感じる。一方で、幼から小、小から中というように、校種が変わる時の不適応問題が社会問題としてあると思う。
- ・「ありがとう」と言える子が増えていると感じる。
- ・あいさつについて、どういう場でも、誰に対してもあいさつをする、という指導が必要。

【校長より】

具体的な御意見をいただいたので、学校の教育課程に生かしていきたい。令和7年度の学校経営のキーワードは、「一体的に」でいきたいと思う。「知・徳・体」どれかに偏ることなく、相互に関連し合う項目もあるかもしれない部分も含めて、一体的に育みたい。その中でも「徳」の部分では、子供たちに『レジリエンス（立ち直る力）』をつけさせたい。今年度は、『ペアレント・トレーニング』を行った。来年度も保護者を対象としたものを行っていききたいと思う。「体」について、安全意識が高まったので良かった。教員だけでは、できない部分をボランティアの方々や、学校運営協議会のみなさんに手助けしていただいている。働きやすさと働きがいをバランス良く一体的に進めたいと思っている。ぜひ皆様のお力をいただきたい。

（４）学校支援活動について

学校支援活動について、学校支援コーディネーターより、これまでの活動と今後の予定について報告があった。

その他報告事項等

議長から、次回の議長選出について委員に意見を求めたところ、中村委員が次回の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。司会から、次回会議は、2025年2月18日（火）午前10時00分から11時30分の日程で開催する旨の報告があった。